



I 第35週の発生動向 (2023/8/28~2023/9/3)

- ヘルパンギーナについては、東地方+青森市保健所管内、弘前保健所管内及び五所川原保健所管内で**警報**が継続しています。
- 感染性胃腸炎については、県全体の定点当たり報告数が過去5年間の同時期と比較してかなり多い状況です。

II 第35週五類定点把握対象疾患

※記載データは、速報値です。

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、**警報・注意報**については青森県の感染症発生状況 TOP ページをご覧ください。

は警報、は注意報。「空欄」: 患者報告無し。

		東青 (東地方+青森市保健所)		中南 (弘前保健所)		三八 (三戸地方+八戸市保健所)		西北 (五所川原保健所)		上北 (上十三保健所)		下北 (むつ保健所)		青森県計		前週からの増減
		数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	
小児科 内科	インフルエンザ	5	0.42			3	0.23			8	0.89	2	0.33	18	0.30	6
	新型コロナウイルス感染症※	230	19.17	264	20.31	361	27.77	239	34.14	384	42.67	171	28.50	1649	27.48	-229
小児科	RSウイルス感染症	3	0.43	3	0.38	3	0.38	2	0.40					11	0.29	0
	咽頭結膜熱	2	0.29							3	0.50			5	0.13	3
	A群溶血性レンサ球菌咽頭	2	0.29			4	0.50			2	0.33	1	0.25	9	0.24	-8
	感染性胃腸炎	19	2.71	24	3.00	51	6.38	13	2.60	6	1.00			113	2.97	32
	水痘	2	0.29							1	0.17			3	0.08	2
	手足口病	8	1.14	10	1.25			6	1.20	5	0.83			29	0.76	9
	伝染性紅斑															0
	突発性発しん	2	0.29	2	0.25					2	0.33			6	0.16	0
	ヘルパンギーナ	34	4.86	23	2.88	5	0.63	11	2.20	12	2.00	11	2.75	96	2.53	-5
流行性耳下腺炎	1	0.14			1	0.13							2	0.05	2	
眼科	急性出血性結膜炎															-1
	流行性角結膜炎					1	0.50					1	1.00	2	0.20	-2
基幹	感染性胃腸炎(ロタウイルス)															0
	クラミジア肺炎															0
	細菌性髄膜炎															0
	マイコプラズマ肺炎											1	1.00	1	0.17	0
	無菌性髄膜炎															-1

※新型コロナウイルス感染症については、青森県庁ホームページ「新型コロナウイルス感染症について」をご覧ください。

(<https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kenko/hoken/covid19.html>)

また、新型コロナウイルス感染症の発生状況に関しては、保健衛生課 (TEL:017-734-9871) にお問い合わせください。

感染症の窓

デング熱

デング熱は、デングウイルスが感染しておこる急性の熱性感染症です。病原体であるデングウイルスは、ヒトからヒトへ直接感染することはありませんが、デングウイルスを持っているネッタイシマカやヒトスジシマカなどの蚊を介して感染します。

潜伏期間は2~14日で、突然の高熱で発症し、頭痛、眼窩痛、顔面紅潮、結膜充血を伴います。その後、全身の筋肉痛、骨関節痛、全身倦怠感の症状があらわれます。

今年はこれまでに熱帯、亜熱帯地域において、デング熱の大規模な流行が報告されており、今後、海外渡航者の輸入症例等が増加する可能性があるとして、厚生労働省では注意を呼び掛けています。

現時点でデング熱を予防するワクチンや治療法はありませんので、流行地域では虫よけ剤の使用や肌の露出を避けるような服装を心がけましょう。また、デングウイルスに感染しても自覚症状があらわれないことも多いため、流行地域から帰国したときにも蚊に刺されないように注意しましょう。

○詳しい情報はこちらをご覧ください。

☞ [デング熱に関するQ&A \(厚生労働省 HP\)](#)



厚生労働省
ジカ熱・デング熱対策
感染症の運び屋から身を守れ!!!
虫よけ剤をバリアー
肌をバリアー
虫除け剤を使いましょう
出かけるときは肌の露出が
少ない服装にしましょう

なぜ対策が必要?
ジカ熱やデング熱は蚊が介して感染します。原因となるウイルスは、感染した人の血を吸った蚊(日本でヒトスジシマカ)の体内で増え、その蚊がまた他の人の血を吸うとデングウイルスを媒介し、感染を広げます。
ジカ熱やデング熱に感染するとどうなる?
発熱、頭痛、骨関節痛、眼窩痛、顔面紅潮、結膜充血などの症状が現れます。また、ジカ熱は妊婦が感染すると小児症候(先天性脳障害)をもたす可能性があります。デング熱では出血を伴うデング出血熱となり重症化することがあります。

【ヒトスジシマカ】
デング熱やジカ熱の媒介種となる蚊の一種です。日本では主に夏から秋にかけて活動します。体長約5mm、黒い体に白い模様があります。吸血は夕方から夜にかけて行われます。繁殖場所は水たまり、排水溝、植木鉢の水などです。
【ヒトスジシマカ】
デング熱やジカ熱の媒介種となる蚊の一種です。日本では主に夏から秋にかけて活動します。体長約5mm、黒い体に白い模様があります。吸血は夕方から夜にかけて行われます。繁殖場所は水たまり、排水溝、植木鉢の水などです。

ジカ熱 予防策
デング熱 予防策

図 デング熱予防啓発資料
(厚生労働省 HP より抜粋)

Ⅲ 全数把握対象疾患

- ・結核（二類感染症）：八戸市1人、上十三1人 (2023年計：76人)
- ・梅毒（五類感染症）：上十三1人 (2023年計：21人)
- ・百日咳（五類感染症）：むつ1人 (2023年計：7人)

Ⅳ 病原体検出情報 ※（ ）内は、検査材料及び検体採取日

無菌性髄膜炎患者（鼻汁、8/15）・・・ヒトパラインフルエンザウイルス4型：弘前1人

Ⅴ 保健所管内別全数把握対象疾患発生状況（2023年第32週～2023年第35週）

週	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
32					腸管出血性大腸菌 感染症1人 後天性免疫不全症 候群1人	
33	カルバペネム耐性 腸内細菌目細菌感 染症1人	劇症型溶血性レン サ球菌感染症1人			カルバペネム耐性 腸内細菌目細菌感 染症1人 クリプトスポリジウ ム症1人	
34		破傷風1人				カルバペネム耐性 腸内細菌目細菌感 染症1人
35					梅毒1人	百日咳1人

Ⅵ 結核(二類感染症) (2023年第32週～2023年第35週)

(人)

週	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
32		1				
33	2	1		1		
34	1	1			1	
35			1		1	

Ⅶ 全数把握対象疾患発生状況（全国-青森県）（注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています）

全国（2023年第1週～第34週までの累計）

分類	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノкокス症	エムポックス
累積報告数	9080	1	25	2176	27	6	379	33	10	187
分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	オウム病	回帰熱	コクシジオイデス症	重症熱性血小板減少症候群	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	ブルセラ症	マラリア
累積報告数	7	15	1	108	2	111	75	258	1	12
分類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	ライム病	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	急性弛緩性麻痺	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病
累積報告数	18	1377	13	333	166	1219	40	353	7	99
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	梅毒	播種性クリプトコックス症	破傷風
累積報告数	549	620	32	364	11	1170	248	9798	111	71
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	百日咳	風しん	麻疹	薬剤耐性アシネトバクター感染症					
累積報告数	81	617	10	23	11					

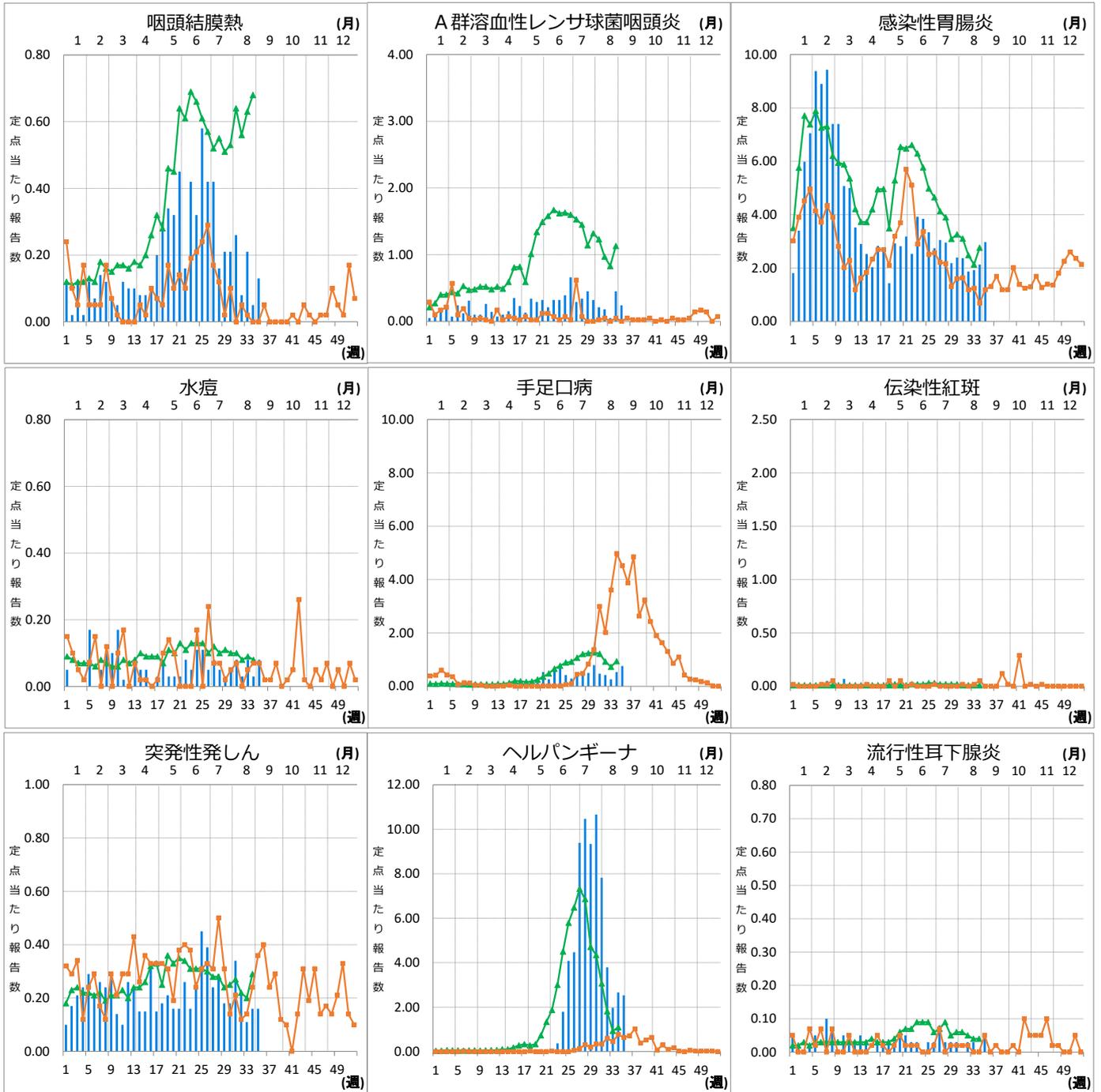
青森県（2023年第1週～第35週までの累計）

分類	二類	三類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	結核	腸管出血性大腸菌感染症	E型肝炎	つつが虫病	レジオネラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病
累積報告数	76	11	2	8	8	1	2	19	1	2
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	梅毒	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	百日咳		
累積報告数	8	2	1	14	21	3	1	7		

Ⅷ インフルエンザ・小児科定点把握対象疾患週別推移（2023年第35週、ただし全国は前週）

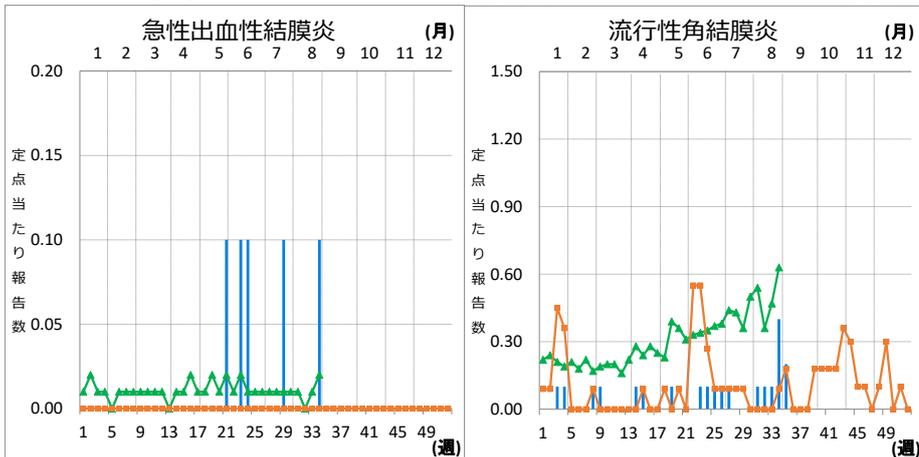
グラフの説明 ■は2023年青森県、■は2022年青森県、▲は2023年全国





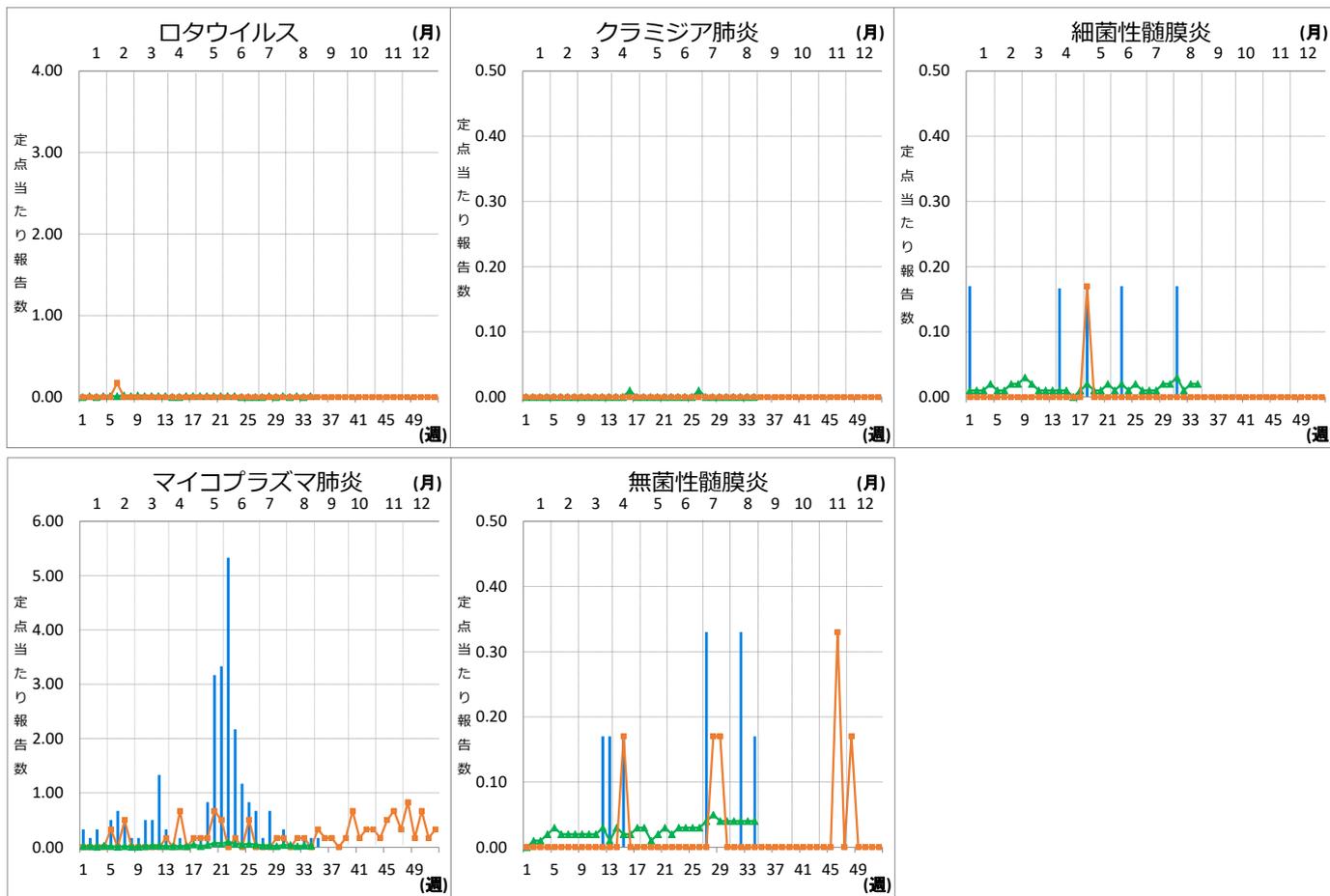
Ⅹ 眼科定点把握対象疾患週別推移 (2023年第35週、ただし全国は前週)

グラフの説明 **■**は2023年青森県、**■—■**は2022年青森県、**▲—▲**は2023年全国



X 基幹定点把握対象疾患週別推移（2023年第35週、ただし全国は前週）

グラフの説明 は2023年青森県、 は2022年青森県、 は2023年全国



XI 社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成18年2月22日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

2023年第35週

報告はありませんでした。

2023年報告件数及び発症者数

施設種別	月(週)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月					計 (施設)
		1-4週	5-8週	9-13週	14-17週	18-21週	22-26週	27-30週	31-34週	35週	36週	37週	38週	39週	
介護・老人福祉関係施設	件数	2	1	4	0	1	0	0	0	0					8
	発症者数	25	10	90	0	18	0	0	0	0					143
児童・婦人関係施設等	件数	5	8	5	3	0	0	0	0	0					21
	発症者数	102	148	69	65	0	0	0	0	0					384
障害関係施設	件数	1	1	1	1	0	0	0	0	0					4
	発症者数	26	26	49	16	0	0	0	0	0					117
その他施設	件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0					0
	発症者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0					0
計(月別)	件数	8	10	10	4	1	0	0	0	0					33
	発症者数	153	184	208	81	18	0	0	0	0					644